

福祉講演会



3月13日(金)の1限に福祉講演会がありました。(社)日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター シンシアの丘の広報 柴原さんと後藤さんに講演していただきました。介助犬のハーミーが、靴下を脱がせたり、携帯電話を拾ったりすることが分かりました。また、1円玉も口を使って拾うことができました。B組が静かに講演を聞いている姿が分かりました。真剣に話を聞けるというのが、B組の良さですね。

福祉講演会の後に、アンケートを取りました。一部紹介します。

介助犬が、手足が不自由な人をサポートする犬だとは知らなかったです。たぶん、家族も介助犬についてあまり知らないと思うので、家で今回のことを話そうと思います。もし、外で手足の不自由な人やその他にも困っている人がいたら、助けられるように心がけたいと思います。

鈴木深優

必要としている人はたくさんいるのに、介助犬がとても少ないと知って驚きました。また、盲導犬や聴導犬と区別されていないことも多いので、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

石原希美

介助犬について、分からないことや分かったことがたくさんあって、とても面白く、ためになる講演でした。もっと介助犬を育成するために、介助犬の募金箱を見たら積極的に募金したいです。この講演はとても勉強になって良かったです。

堀天空

手足の不自由な人を助けること自体を知りませんでした。でも、今日の講演会で手足の不自由な人を助けるなかでも具体的に携帯電話を探して渡すことを知りました。犬はとても賢いんだなぁと改めて思いました。

澤田涼花

介助犬は、手足の不自由な人に付いて、携帯電話を拾ってほしいときは、「take ケータイ」と言って、「give」と言えば、渡してくれるのがすごいと思いました。介助犬でもドアを開けることができることを知りました。

北洞ころ

盲導犬しか知らなかったなので、介助犬のことがよく知ることができて良かったです。また、介助犬が仕事中のときは、邪魔をしないようにすることが大切だと分かりました。今は、71頭しかいないけど、これからたくさん増えて、いろんな人のお手伝いをしてほしいと思いました。

津曲光希